

平成29年9月

大野市教育委員会定例会  
会議録

日 時：平成29年9月28日（木）午後3時00分～5時30分

場 所：大野市役所 談話室

## 大野市教育委員会 9月定例会

平成29年9月28日(木)  
午後3時～談話室

### 1. 開 会

会議録署名人           山川委員          關委員          

### 2. 8月定例教育委員会の会議録の承認について

### 3. 委員長及び教育長の重要事項報告

### 4. 議 事

議案第29号 大野市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案

議案第30号 大野市文化会館整備基本計画策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱案

議案第31号 平成29年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検評価報告書案

### 5. 付議事項

1) 9月議会の報告について

資料1

2) 10月の行事予定について

資料2-1

・10月定例教育委員会 10月26日(木)午後3時から 談話室

### 6. その他

1) 9月の業務報告について

資料2-2

2) アジア国際子ども映画祭中部・北陸ブロック大会表彰式について

資料3

3) 教育委員の学校訪問について

資料4

4) 大野市文化会館整備事業 市場調査の実施方法について

資料5

5) 教育委員視察研修について

6) 指定学校の変更の許可について

### 7. 閉 会

<出席者>

	委員長	洞 口 幸 夫
	職務代理者	清 水 美 那 子
	委 員	山 川 秀
	委 員	關 園 子
	委 員	松 田 公 二
事務局（説明者）	教育長（再掲）	松 田 公 二
	事務局長	小川 市右エ門
	教育総務課長	山 田 靖 子
	学校教育審議監	道 鎮 栄 一
	生涯学習課長	中 村 吉 孝
	〃 文化財保護室長	中 村 りえ子
	〃 スポーツ振興室長	多 田 直 人
（書 記）	教育総務課課長補佐	安 井 妙 子

<傍聴者>

3 名

## 【開会・点呼】

【委員長】定刻となりましたので、ただ今から9月定例教育委員会を始めさせていただきます。

本日の傍聴者3名の方を許可をしていますので報告します。

——<大野市教育理念の唱和>——

【委員長】暑さ寒さも彼岸までと言いますが、このところめっきり秋らしくなってきました。皆さん方にはお元気で出席いただき、誠にご苦勞様です。

一昨日は文化の秋にふさわしく、中学校の連合音楽会がありました。

私は音楽が苦手なので専門的なことはよく分かりませんが、どの学校とも声量が十分で実にすがすがしい音楽会だったと思います。

以前は生徒指導の先生方が会場の角から目を光らせていてとても合唱を楽しむというような雰囲気ではなかったと聞いたこともあります。

しかし近年は、特に今回の音楽会では以前のような姿はどこにもありません。聞く態度、舞台への上り下り、指揮者との一体感、そして行う人も、見る人も、支える人も、皆が主役という自覚のある中学三年生の姿を見ることができました。

来月の11日には小学校の部も予定されていますが、これまた期待の高まる場所です。

このように大きく変容した影には、学校のこれまでのご指導と大変なご苦勞があったればこそと、心からお礼申し上げたいと思います。同時に行事によって子どもを伸ばすという視点から、この音楽会がいつまでも続くよう期待したいものです。

## 【会議録署名人】

【委員長】本日の会議録署名人は山川委員さんと關委員さんのお二人にお願いします。

## 【8月定例教育委員会の会議録の承認について】

【委員長】次に、8月の定例教育委員会の会議録の承認について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課課長補佐 概要説明>——

【委員長】ただ今、事務局から8月の定例教育委員会の会議録について説明がありましたが、今、修正のありました2箇所以外に何か修正点はありますか。

【山川委員】特にありません。

【委員長】無いようですので、事務局の説明どおり承認してよろしいですか。

——<異議なし>——

【委員長】では、8月定例教育委員会の会議録については、事務局の提案どおり承認したいと思います。

### 【委員長及び教育長の重要事項報告】

【委員長】次に3番目、委員長及び教育長の重要事項報告についてですが、私の方からは特に報告はありませんが、教育長から何かありますか。

【教育長】私からは、重要事項報告として小中学校再編に関する要望書が新たに4件提出されておりますので、ご報告をいたします。

まず、大野の未来を考える会から大野市の小中学校再編に関する要望書が提出されております。提出者は大野の未来を考える会代表者、宛先は大野市教育委員会教育委員長となっております、提出日付は平成29年9月4日です。

次に乾側地区学校統廃合を考える会と乾側地区民生委員児童委員の連名で乾側地区の小中学校統廃合に関する要望書が提出されております。提出者は乾側地区学校統廃合を考える会代表と乾側地区民生委員代表、宛先は同じく大野市教育委員会教育委員長となっております、提出日付は平成29年9月4日です。

次に和泉地区自治会と和泉みらい検討会の連名で大野市小中学校再編計画に関する要望書が提出されております。提出者は和泉地区自治会会長と和泉みらい検討会代表者で、宛先は大野市教育委員会となっております、提出日付は平成29年9月4日です。

次に上庄地区区長会から、小中学校再編に係る要望書が提出されました。提出者は上庄地区区長会会長で、宛先は大野市教育長となっております、提出日付は平成29年9月22日です。

以上4件の要望書をいただきましたが、詳しい内容については、後程、局長と課長より報告いたしますので、よろしくお願ひします。

【委員長】ありがとうございました。では後程、局長・課長より詳しく説明がありますのでよろしくお願ひします。

### 【議事】

【委員長】それでは、議事に入ります。

議案第29号 大野市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案について、事務局の説明をお願いします。

——<文化財保護室長説明>——

【委員長】ただ今、議案第29号について説明がありました。簡単に申しますと、事務分掌が1項目追加されたということですが、何か質問等はありませんか。

【關委員】今までは、このような事務はどこで対応していたのですか。

【文化財保護室長】新旧対照表の旧に「6化石に関すること」というのがあります。和泉郷土資料館の管理運営の中とか、化石の大野市全体の調査研究というようなものは文化財保護室で行っています。今般、化石発掘体験センターが出来ますが、これは市長部局の施設ですので、この中に指導される方の教育や展示パネルの内容チェックなど教育面の指導補助を教育委員会で担います。体験事業の中で発見される化石資料のうち、研究に値するものについては、収集し調査研究を文化財保護室が担うものです。

【關委員】ということは、今までもしていたけれども、体験センターができることで、ここに追加になったということですね。

【文化財保護室長】そうです。

【清水委員】化石発掘体験センターは新たに出来るのですか。

【生涯学習課長】10月28日に和泉の国民休養地にオープンします。紅葉まつり等が開催される会場で、以前にプールがあった場所付近に建設しており、間もなく完成します。これは和泉支所の所管ですが、学術的な貴重な化石が出たりするので、その部分については教育委員会が関与していくことを明記するという意図です。

10月号の広報おおので化石の特集記事が掲載されますので、ご覧ください。

【清水委員】本日の福井新聞に出ていた「HOROSSA（ホロッサ）」ですね。分かりました。

【委員長】では、事務局の提案どおりとしてよろしいですか。

——<異義なし>——

【委員長】では、議案第29号 大野市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案については、原案どおり議決します。

続きまして議案第30号 大野市文化会館整備基本計画策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱案について、事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【委員長】ただ今の説明につきまして何かご質問等がありますか。

今の説明ですと、委員1名増えるということですが、その委員の区分は（1）から（4）のうち、どこになりますか。

【教育総務課長】（4）になります。

【委員長】「（4）全3号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者」ですね。

特に意見はありませんか。

【委員長】では、提案どおり承認してよろしいですか。

――<異議なし>――

【委員長】では議案第30号 大野市文化会館整備基本計画策定委員会設置要綱の一部を改正する要綱案については、事務局の提案どおり議決することにします。

続きまして、議案第31号 平成29年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検評価報告書案について、事務局の説明をお願いします。

――<教育総務課長説明>――

【委員長】議案第31号について、何か意見や質問がありましたらお願いします。

【清水委員】石原委員さんは、ずっと委員になっておられたと思いますが、渡辺委員は今年初めてですか。

【教育総務課長】渡辺委員は昨年からお願ひしていきまして、2年目です。

【委員長】井上委員の意見の中で帳票の見直しについて、状況確認シートのほかに何か様式を作るとなると、職員に膨大な事務負担がかかりますが、何か考えはありますか。

【教育総務課長】同じ様式だからこそ、毎年継続してできるということもありますので、シート項目については、できる限りこの様式でやりたいと考えています。帳票の見直しについては、また井上委員と相談していききたいと思います。

【委員長】確かに、「効率性」の欄で「民間委託と市民協働の可能性」の二つが一緒になっていますが、「市民協働」については井上委員のご指摘のとおり「有効性」の欄の「市民等のニーズとの一致」というところで書かれた方が効果的だと思います。

また、石原委員の「“育成”という言葉が安易に使っている」というご指摘についてはどのように考えていますか。

【生涯学習課長】確かによく使う言葉ですが、人づくりという分野でこれ以外の言葉を使うのは難しいです。

【委員長】使いやすい言葉ですが、委員さんからのご意見は、よく吟味していただきたいと思います。

ほかに何かありましたらどうぞ。

【教育総務課長】新しい事業を評価することも大事ですが、継続的に評価していくことも大事で、半分以上の事業は継続して取り上げているのですが、そうすると、評価内容は、ほぼ同じことばかり書くことになります。

【委員長】中には28年度限りの事業もありましたね。私はこれはどうかなと思いました。1年限りなら評価の必要性はそんなにないのかなと感じました。

【教育総務課長】予算もない事業でしたが、労力を伴うとても大きな取り組みを行ったということで評価対象としました。

【委員長】 34ページの生涯学習推進事業の予算額は年々減少しており、あまり効果が見られなかったので予算を削減してきたということかと考えられますが、そういうことなら、逆に予算をかけて効果の出るような対策をとるべきではないかと思いました。

【生涯学習課長】 予算面では市全体が財政的に年々厳しくなっていており、その中で成果を上げるのがなかなか難しいのですが、講座などは他課や各公民館でも実施しているので、内容を精査しながら、より多くの方に来てもらえるものに絞って取り組んでおります。

【局長】 各公民館では、ある講座で学んだあと、自主的に開かれる講座が増えています。特に大野公民館では、こもれび学社という民間講座がありまして、行政主体から民間主体に広がっています。

【委員長】 講座から独立していくということですね。だから予算額は減少してきていると。それなら評価も変わってくるでしょうね。

【教育長】 評価の仕方は決算の状況や参加者数、あるいは聞き取りやアンケートなどいろいろあります。参加者数では固定化された人ばかりが参加しているというのも課題です。生涯学習、生涯スポーツにおいて広がりをもとめていくか、興味関心や、意識の格差をどう解消していくか、どのように刺激していくかが教育委員会の大きな仕事だと感じております。

【關委員】 私も石原委員のご指摘のように、若い人を増やしていくと今までと違う層にも広がるのではないのでしょうか。私がいただく市民学校の案内は介護等の内容が多いですね。こもれび学社も多くの参加者があるようですが、市内の商店に少人数で行っているような体験をする、まち講座も人気があると聞いています。

伝統文化伝承事業の中で後継者がいなくなって、早急に対策が必要なものはないのですか。

【文化財保護室長】 認証作業が進んでいないので、そういった情報は聞いていないのですが、こちらから地区に問い合わせると、以前はやっていたというようなこともあります。一番困っておられるのは上大納の左義長ではないかと思います。大きな作り物があるのですが、高齢化が進んでいて力仕事をする若い人がいないと聞いたことがあります。

認証された伝承事業は、広報おおので毎月一つずつ紹介していますので、上大納の左義長も広報おおのに掲載することで、若い方に興味関心を持ってもらえたらと期待しているところです。

【山川委員】 既に消滅した伝承事業の記録は事務局で保管しているのですか。

【文化財保護室長】 調査したことはありますが、記録を見たことはありません。消滅したものはかなりあると思いますし、昔やっていたことを覚えている人も少なくなつて



いると思います。例えば報恩講さんは各家庭でもしなくなりましたし、お寺の報恩講さんもやり方が変化しています。

今から調査するとしても、専門的な知識を持つ人が少ないので難しいと思います。

**【教育長】** おおの遺産について、もう少し詳しく説明してください。

**【文化財保護室長】** 伝統文化伝承事業としておおの遺産という名称で認証すると、日頃の保存活動に対して1/2で上限5万円の補助をします。備品や修繕に関しては3/4で上限10万円、後継者育成のための活動にも3/4で上限10万円の補助をします。

今年度はまだ1件だけで、篠座神社の里神楽と豊栄舞が今年1300年ということで、子どもたちの衣装の買い替えに補助をしています。

このほかに、これまでに認証した団体から要望は聞いていませんが、上限額については低すぎるという声が上がっています。

今後、後継者となる人に知ってもらうために、更に宣伝していかなければならないと思っています。

**【委員長】** ほかに、よろしいですか。

——<異議なし>——

**【委員長】** では、議案第31号 平成29年度教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検評価報告書案については事務局提案のとおり承認することとします。

以上で、議事を終わります。

### 【付議事項】

**【委員長】** 次に付議事項に入ります。9月議会の報告について、事務局の説明をお願いします。

——<局長、教育総務課長説明>——

**【委員長】** 9月議会の総務文教常任委員会で事務局が説明されたことについて、確認したいことはありますか。

**【委員長】** 無ければ、事務局からありましたように要望のあった地区、つまり乾側、富田、上庄、阪谷、そして経過説明を求めている和泉の5地区には、事務局が区長を通じて説明に入りたいということですので、皆さんのご意見を伺います。

**【清水委員】** そうすると、乾側地区学校統廃合を考える会の要望書は、前に出された区長会とは意見が分かれているということですか。

**【委員長】** 前に出された要望書を留めてくれというものです。理屈から考えると、ここに出てくる要望ではなくて、乾側地区の区長会や保護者会に対する要望だと考えていいですね。

**【清水委員】** 地区の中での話ですね。

【山川委員】教育委員会としてお話する場合には、相手方はやはり区長会でなければ話  
はうまく通じないと思います。個々に話してもしょうがないのですから。

【委員長】区長会に対してお話をすることですね。総務文教常任委員会でも、今  
後そういう要望に対しては対応していくという説明をされたのですね。

【教育総務課長】はい。

【委員長】それに対して異論はありませんか。

【清水委員】出向いて話をするのは、別にいいのではないですか。

【委員長】要望者に対してですね。課長、区長会を通じて入っていくということですね。

【教育総務課長】はい、区長会を窓口にします。

【委員長】では、それでよろしいですか。

【關委員】窓口は一つでないと。

【山川委員】いくつもあってもしょうがないのですから。

【委員長】要望のあった5地区については、これから区長会を通じて協議に入っていく  
ということよろしいですね。

——<異議なし>——

【委員長】それでは、学校再編については、それぞれ要望のあった地区には、区長会を  
通じて入っていくことに決定します。

その他の9月議会の報告については、先ほどの説明のとおりですが、よろしいです  
か。

【山川委員】ちょっと気になる文章があるのですが、総務文教常任委員会の委員長報告  
の最後から8行目に「学校再編の取り組みを、今後、丁寧に進めることが重要である」  
とありますが、今までは丁寧でなかったみたいですね。

【委員長】我々の気持ちとしては「今後とも」ですね。

一般質問の答弁については、よろしいですか。

——<「はい」の声あり>——

【委員長】それでは、9月議会の報告については終わります。

続きまして、10月の行事予定について、各課の説明をお願いします。

——<各課室長説明>——

【委員長】各課の説明がありました。何か質問がありましたら、どうぞ。

教育総務課から出ている10月定例教育委員会は10月26日（木）15時からで  
よろしいですか。

——<異議なし>——

【委員長】それでは、10月の定例教育委員会は10月26日（木）15時からといた  
します。

【教育総務課長】 11月と12月の定例教育委員会の日程も、この場で協議させてください。11月は30日を予定していましたが、12月の市議会が11月27日から始まるため、都合が悪くなりました。1週間前の23日は勤労感謝の日で祝日になります。ほかの日程と調整した結果11月20日（月）16時でお願いできませんか。

また、12月は21日（木）15時を予定していますが、例年どおり委員会終了後の16時半頃から市長と語る会を実施させていただいてよろしいでしょうか。

【委員長】 皆さん、よろしいですか。

——<異義なし>——

【委員長】 それでは、11月、12月の定例教育委員会はこの日程でお願いします。

### 【その他】

【委員長】 他にございませんか。

【清水委員】 アジア国際子ども映画祭の中部北陸ブロック表彰式ですが、都合のため欠席させていただきます。

【教育長】 清水委員さんには審査をしていただいたのですね。少し感想をお聞かせください。

【清水委員】 一通り見てから、大人の手が入っていないか気を付けて見直ししました。

市内からは開成中学校からの1作品のみで、ほかは県外の学校ばかりでした。

やはり高校生は上手ですが、小学校でも非常に上手に作ってありましたので、点数は付けにくかったです。

【教育長】 テーマは「学校の先生」ということで、私も見ましたが非常にハイレベルでした。

【關委員】 私も、当日は行事がありまして欠席でお願いします。

【委員長】 2番目のアジア国際映画祭のブロック表彰式は、私だけ出席いたします。

次に3番目の教育委員の学校訪問について、説明をお願いします。

——<学校教育審議監、生涯学習課長説明>——

【委員長】 事務局から、教育委員の学校訪問と公民館訪問について提案をいただきました。今年については、学校訪問を予定通り実施し、公民館訪問は無いということです。働き方改革ということで、来年度からは交互にやりたいということですが、いかがでしょうか。

——<異義なし>——

【教育総務課長】 今回は二つの訪問事業について申しましたが、年間を通して、総合教育会議を始め研修や語る会など、教育委員さんが出席される行事が数多くあります。

働き方改革に合わせてこれらの行事を吟味したいと考えています。その都度ご相談いたしますので、よろしくお願いします。

【委員長】では、そのようにお願いします。

次は4番目、大野市文化会館整備事業 市場調査の実施方法について事務局の説明をお願いします。

——<教育総務課長説明>——

【委員長】市場調査の実施方法について説明がありました。これに対して何か質問はありませんか。

【清水委員】この調査は教育委員会で行うのですか。外部に委託するのですか。

【教育総務課長】基本計画の策定自体を業者に委託していますので調査も委託します。全国で行っている、ひな形のようなものがあり、それに大野市の特徴を組み入れたもので調査することになります。

【清水委員】いつまでにやるのですか。

【教育総務課長】ご承認いただければ、10月の中旬にやりたいと思っています。

【委員長】特になければ、このように実施をお任せすることよろしいですか。

——<異義なし>——

【委員長】では、このように実施することにします。

次に5番目、教育委員視察研修について説明をお願いします。

——<教育総務課課長補佐説明>——

【委員長】教育委員の視察研修は1日ということで、方面、目的、日にちについて、急なことですが、何かありますか。

事務局で何か考えていることはありますか。

【教育総務課課長補佐】廃校を利用した施設を探しています。愛知県岡崎市のホテル学校、滋賀県米原市の伊吹山文化資料館、愛知県新城市には、起業家に施設を貸し出すサテライトオフィスやレストランなどの事例がありました。

【委員長】廃校活用ということですが、いかがですか。

【教育長】日帰りですと新城市は遠いので、せいぜい岡崎市辺りまでですね。

【山川委員】一度、事務局で検討してください。

【教育総務課課長補佐】日は10月17日、25日、31日、11月15日で1日いかがですか。

【關委員】17日は都合が悪いので25日がいいです。

【山川委員】私は欠席します。

【教育長】廃校活用施設だけでなく、できればその周辺や経路でもう1ヶ所ほど研修ができるようにしてください。

【委員長】では25日ということで、行先は事務局に一任します。

9月の業務報告が未了でしたので、事務局説明をお願いします。

——<各課室長説明>——

【委員長】何か質問はありますか。

【山川委員】市役所新採用職員の研修会講師に文化財保護室の職員派遣というのは、今回初めてですか。

【文化財保護室長】市役所新採用職員研修は今までも行っていましたが、大野の歴史について研修するのは初めてです。

【山川委員】良いことなので、毎年やるといいですね。

【教育長】感性はがき展は、どのくらいの応募がありましたか。

【生涯学習課長】9月末が締切なので、まだ集計ができていませんが、3千通は超えています。学校からの応募がまだ届いていません。

【清水委員】30日親子のための虹色コンサートとは、どのような内容ですか。

【生涯学習課長】詳しく説明できませんが、親子で参加型のイベントです。

【委員長】では、最後に指定学校の変更の許可について、報告をお願いします。

恐れ入りますが、傍聴者の方の退席をお願いします。

——<傍聴者退席、学校教育審議監説明>——

【委員長】以上のお通り、許可をしているということです。よろしいですね。

——<異義なし>——

【委員長】ほかに何かありますか。

——<「ありません」の声あり>——

【委員長】それでは、大変長時間になりましたが、これにて全日程が終わりました。

以上で9月定例教育委員会を終了します。どうもありがとうございました。

午後5時30分終了

平成29年10月26日

---

(山川委員)

---

(關 委員)